



ひかりの都

リハビリテーション西播磨病院だより

発行・編集

兵庫県社会福祉事業団

リハビリテーションセンター西播磨病院

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

TEL (0791) 58-1050

FAX (0791) 58-1071



着任のご挨拶

リハビリテーション西播磨病院 副院長 加藤 順一

「明日のリハビリ病院をともに考えましょう」

この度、4月1日よりリハビリテーション西播磨病院に副院長として着任いたしました。その職務の重責に身も心も引き締まる思いであります。何分、若輩者ではありますがどうぞよろしくお願いいたします。

少し自己紹介をさせて頂きたいと思えます。私は、内科医師になつて二十余年になりますが、その三分の二にあたる期間を兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院で勤務してまいりました。

この度、ご縁があつてこちらの病院でお世話になることになりました。西播磨病院の開院当初より非常勤医師の一人として内科診療にあたっておりましたが、病院スタッフは元氣よく活氣と希望に満ちあふれており、大変心強く感じております。

医療費の抑制や地域医療を担うスタッフ不足など社会的問題として難問題が山積する昨今ですが、当病院はリハビリテーション専門

病院として西播磨在住の方々を心に地域とともに成長することを目指して動き出したばかりの病院です。

リハビリテーション医療において「患者さま本位の医療」を当たり前のように提供することが、いかに大変なことであるとともに重要なことであり、そしてそのことが医療人として何より価値あることと信じ「医は仁術、医学は科学」をモットーに従事して参ります。患者さまやご家族の笑顔や感謝の気持ち私何よりの喜びであり勲章でもあります。

物事を見たり考えたりするとき、多面的に見ることで違った見方ができるものです。多角的な視点から質の高いリハビリテーション医療を提供することを目標に、新しいものも積極的に取り入れ、リハビリテーション医療に貢献できるよう研鑽を積むとともに、病院利用者の方々といっしょにより良いリハビリ病院をめざしてその一翼を担いたいと思います。

桜さく、 飛躍の4年目

西播磨リハビリテーションセンターは4年目を迎えました。

3年前の開設備、7月オープン、電子カルテ導入に伴う研修、そろり、そろりとはじめた臨床、どれをとっても懐かし、3年間は走馬灯のように思い出されます。ここでは、4年目を迎えるにあたっての作業療法部門の抱負を述べたいと思います。

1 患者さま本位の作業療法の展開

具体的には、患者さま自身が治療目標や治療計画・実施、効果の検証といった作業療法の一連の過程に積極的に関与し行う作業療法です。その中では、作業療法士は一日の治療の中で、また、1週間後、2週間後等の目標や治療内容について説明責任を負い、患者さまの意見に沿った、作業

療法を展開していくこととなります。このような体験は、患者さまが退院後の生活の中で、数々の動作困難（作業困難）が生じた時、解決するための方策、考え方を入院中に学習する機会を提供することになり、在宅生活支援の大きな柱になると考えています。

2 障害をもっている、主体的に作業に取り組む人になっていただきたい。

これは、多くの患者さまを担当させていただき、作業療法の「核」だと思ふ事柄です。座る、立つ、歩くといった基本的な動作を、患者さまの生活の中でどのように実用的にしていけるか。また、それらが困難な場合でも、やり方や工夫や環境調整によりできるようにする。また、できる作業を見つけていただき、それを継続して行うことで、心身の健康に役立つことを実感し

3 在宅生活、社会参加を見ずえた作業療法の展開

病院で訓練する目的は、患者さまが在宅で生き生きと、主体的に生活をおくることができることです。したがって、作業療法の内容は、個々の患者さまにより行うことは違いますが、生活に密着した内容になります。具体的には、トイレ動作、入浴動作といった身の回りの動作や調理や買い物、趣味的な作業などです。

勿論、手足の動きの改善や維持のための機能訓練は行ないますが、それらも、具体的な動作や作業に結び付けた取り組みであります。

以上、作業療法の抱負を述べ述べましたが、患者さまが、障害をもたれても、その人らしい、

生き生きとした生活ができるよう支援して行きたいと思っています。

リハビリ療法部長 中村春基



(在宅生活を目指した作業療法の様子)

AEDを実際に 使ってみよう!

人が急に倒れたら近くのAED
をさがしてください。

ところでAEDって?!

・AED「自動体外除細動器」

とは特別な知識がなくても、
簡単に誰でも心臓の動きを元
に戻せる医療機器です。

・AEDは誰でも使えます。最

新の電気製品よりも操作は簡単

・AEDのある場所に
はこのマークが……



こんな時にAEDを使います!

…「人が倒れている!」

・倒れている人を発見したら…

・大声で近くに居る人を呼んで

下さい。

・肩をたたいて意識
の確認、呼吸の確認

・呼吸がない!時は

救急車とAEDを

手配します。

・音声ガイドに従ってスイッチ
オン!でOKです。



リハビリテーション西播磨病
院内では東病棟、リハビリ訓練
室に設置されています。
AED適応外の人には機器が
作動しません。安心してお使い
下さい。

総合相談・

地域連携室の案内

病院玄関を入ってすぐ右側、
受付窓口の向かい側に総合相談・
地域連携室があります。一体何
をしている部署なのだろうと思
われる方も多いと思います。少
しですが私達の役割を紹介いた
します。

この部署には室長の医師をは
じめ、医療ソーシャルワーカー、
看護師、理学療法士、作業療法
士、言語聴覚士がおり、様々な
相談を受けて、専門的な立場か
らの助言や関係機関との連絡調
整をおこなっています。

例えば「介護保険で何が利用

できるの?」「身体障害者手帳
があればどんなメリットがある
の?」「医療費の自己負担を軽
くする方法は?」「車いすを手
に入れるには?」「住宅改修の
助成を受けるには?」「在宅で
使えるサービスは?」「病院や
施設はどんなところがあるの?」
等、退院に向けて準備を進めて
いく上で疑問や不安を感じたこ
とはありませんか。そんな時は
総合相談・地域連携室をご利用
下さい。よい解決方法が見つか
るようお手伝いいたします。

また総合相談・地域連携室で
は、主治医からの依頼を受けて
退院前に住宅訪問を実施してい
ます(住宅訪問の必要がある患
者様に限ります)。ご自宅に伺
い、住環境や自宅内での患者様
の動作を確認し、ケアマネジャ
ー、改修業者等と一緒に住宅改
修案や必要な福祉用具、サービ
スの検討をおこないます。更に
必要であれば、退院後訪問も実
施しています。在宅生活で困っ

ていることはないか、住宅改修
や福祉用具の選定が適切であつ
たか、サービスが上手く使えて
いるか等を確認し、入院生活か
ら在宅生活へスムーズに移行で
きるよう支援をおこないます。

総合相談・地域連携室のご利
用方法は簡単です。総合相談・
地域連携室へ直接お越し下さい。
来室が難しい場合は、スタッフ
が病室へ伺ってご相談すること
もできます。予約や事前の申し
込みは特に必要ありません。主
治医・看護師等を通して依頼し
て頂いても結構です。ご家族の
来院が難しい場合は、お電話で
もご相談に応じています。

その他、何かお困りのことが
ありましたらお気軽にご相談下
さい。プライ
バシーは厳守
いたします。
少しでも皆様
のお力になる
ことができれ
ば幸いです。



笑顔と感謝と

5月にパッチ・アダムスが姫路にやって来ます。パッチ・アダムスをご存知でしょうか？本名はハンター・アダムス。そう、ロビン・ウィリアムス主演の映画「パッチ・アダムス」のモデルとなった方です。ハンター・アダムスさんはアメリカのお医者さんで、医療の現場にこそ笑い、医療スタッフと患者さんの間の分け隔てない関係、心の交流が大切であることを唱え、現在も世界中の病院や施設に出向き活発に活動をされています。僕が映画「パッチ・アダムス」を初めて見たのは医学生時代。非常に感銘を受け、パッチのように人の心にあかりを燈せる人間になりたいと胸を熱くしたのを覚えています。そして、今でも映画「パッチ・アダムス」は、医師として、そして人間として大切に普遍的なものは何なのかと、いうことを思い出させてくれます。

映画「パッチ・アダムス」は笑うことの大切さを思い出させてくれますが、笑顔共和国ってご存知でしょうか？地図上では見つけられない国、笑顔共和国という文化団体を作られた福田純子さんも笑い、なかでもユーモアの大切さを唱えていらっしやいます。他人を笑いの対象にするジョークに対して、ユーモアは自分を笑いの対象にするので、

誰も傷つけずに人の心を癒すことが出来ます。同じ笑いをもらすジョークとユーモアですが、ジョークはときに笑いの対象にされた人の心を傷つけることがありますよね。それに対してユーモアはあくまで自分のことを笑ってもらうことによって、自分もまわりの人もハッピーになります。

第二次世界大戦中、アウシュヴィッツ等のナチスの強制収容所の収容体験を経験した心理学者のヴィクトール・E・フランクルもユーモアの大切さを説いています。死と隣り合わせの毎日強いられる極限状態の中であつても、生きることへの活力を与え、心を支えてくれたものは、自然の美しさ、愛する人の存在を心の中に感じることに、そしてユーモアだったと言つています。フランクルは収容所の仲間提案しました。「一人一人が毎日、最低一つは笑い話を作り共に笑おう」と。そうやって明日への希望を失わずに、お互いの心を癒し合い苦難の時を生き抜かれたとのことでした。

僕らは悲しい事やつらい事が起こった時、苦しい時には、その時点での不運や不幸せにだけにとらわれてしまい、どうしても視野が狭くなってしまうがちです。その問題に捕らわれ、どんどん自分の中で膨らませていってしまった、自分を追い詰めてしまったります。そんな時に、ユーモアや笑うということは、

その事に捉われすぎていた自分に気づかせてくれた、いつの間にか狭くなっていた視野を広げ、冷たく凍っていた心を溶かし癒してくれます。

映画「パッチ・アダムス」でもパッチは自分の人生に意味を見出せず、自殺未遂を繰り返し、精神病院に入ります。そこで入院中のある患者さんにパッチは4本の指を目の前にかざされて「指は何本見える？」と質問をされます。その質問を通して彼は悟るのです。問題自体にフォーカスを合わせてしまうと、かえってその問題の裏に隠された自分の求める本当の「答え」、物事の心理は見えてこないのだということを、そして、もっと「遠く先」を見つめるような見方をした時にはじめて自分が求めている真の答えを悟ることができるのだということを。そして、笑いがいかに自分を含めた人間に癒しをもたらすかを悟り、病を持つ人に笑いと癒しを与えることが自分の人生の目的であり喜びだと、年齢四十半ばにして医師になることを決意するのです。

世の中ではプラス発想、ポジティブ思考が謳われていますが、笑顔共和国の福田純子さんは「プラス思考だけでは心がつまづきやすいです」とおっしゃっています。というのもプラス思考には、その裏側にはマイナス思考がびっつたりと影のように存在し続けているから。私達は物事をつい「正しいか正しくないか」

と考えがちですが、そうではないくて福田さん曰く「楽しいか楽しくないか」が大切なのだそうです。そして、日々「こうした嬉しいね、楽しいね、ありがとう」を感じる「笑顔人生」を生きましようとおっしゃっています。笑顔と「ありがとう」が人生の特効薬。「辛い」という時も幸せの「二」の線一本違い。辛い事柄の中には幸せの種があるのではありません。すべては心のあり方ひとつ。自分の心の中のもの、現実を作っているのかもしれないですね。

僕らのまわりで起こることは、決してその時点での良し悪しでは判断できないように思います。その時はなんて最悪の事態なんだったって思っていたことが、意外と後々に幸せを導いてくれたりすることが多いように感じます。あの時のあの事があつたからこそ今の自分があるんだなって。どんな事にも意味があり、すべてはよい方向に進んでいつているんだと自分と人生を信頼し、まわりのすべてに感謝することが大切なのでしょうね。遺伝子研究の権威で筑波大学名誉教授の村上和雄先生も、人間は感謝したり笑うことによって、いい遺伝子のスイッチをどんどんオンにすることができるとおっしゃっています。僕も「笑顔人生」を楽しみながら遺伝子オンで生きていきたいなと思う今日であります。